

研究成果情報

新技術・情報名	推進部会名	問題別
ソルガム栽培における麦稈すき込みと施肥法		

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

転換畑において、冬作小麦との輪作体系でソルガムを栽培する場合、麦稈をすき込んだ時は元肥重実の施肥法で、施肥量は標準（三重県飼料作物耕種基準）の5割増し程度で安定した収量が期待できる。

2) 技術・情報の適用効果

冬作小麦収穫後には梅雨に入るために、麦稈をすき込んで、早くソルガムを播種しなければ高収が期待できぬが、一方、生育初期のチツク飢餓が問題となる。ソルガムの播種期が6月中旬から7月の場合、このような施肥法でソルガムの乾物収量が高収となる。

3) 適用範囲

集団耕作で冬作小麦を栽培し、コンバイン等で麦稈が7cm程度に切断されていゝ場合、これをロータリ耕してすき込む場合に適用される。このため、地域的にはかなり限定される。

4) 普及指導上の留意点

冬作小麦を収穫後、天候が良ければ、できだけ早く上記の処理を行って、ソルガムを播種する。ソルガムの播種期が遅れると高収が期待できぬ。

乙、具体的データ

表1. 各処理の耕種法

項目	処理	慣行区	試験区(元肥重実施肥)
肥料と施肥量	塩化リン安42号	70kg/10a	塩化リン安42号 100kg/10a
施肥法	ロータリ耕（前）全面施肥		ロータリ耕（前）全面施肥
土壤改良材	投入せず		マグカル100kg/10a
麦稈すき込みと 切断長	すき込み量 500kg/10a (7cm)		すき込み量 500kg/10a (7cm)

表2. 各処理の生育・収量

年次	区別	品種	播種期	収穫期	ステージ	草丈 cm	生収量 kg/10a	乾物収量 kg/10a
58	慣行	スイートソルゴ	7月25日	10月11日	乳熟期	267	5550	1116
	慣行	スズ不	"	"	蜡熟期	235	4760	1166
59	試験	スズホ	"	"	"	236	6250	1706
	慣行	ハイブリッド ソルゴン	7月4日	10月1日	穗ばら2期	182	3880	860
59	慣行	スズ不	"	"	黄熟期	205	3810	1160
	試験	スズ不	"	"	"	246	5000	1700

注) スイートソルゴーはソルゴー型、スズホは兼用型

3. その他特記事項

「転換畑における粗飼料機械化周年生産技術体系の確立」P57~60、総合助成